鳥獣保護管理捕獲コーティネーター募集要項

(令和2年度)

令和2年10月 環境省

【令和2年鳥獣保護管理捕獲コーティネーター募集要項目次】

[1)	鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要	1
[2)	申請から登録までの流れ	2
(3)	申請の際の注意	3
[4)	応募方法	4
[5)	登録要件	5
(6)	審査方法	5
(7)	課題小論文	6
(8)	注意事項	7
[9)	個人情報の取扱いについて	7
[1	0	〕登録期間及び更新	8
[1	1	〕問い合わせ先	8
⊚,	鳥兽	伏仔	民護管理捕獲コーディネーター登録申請書様式集	11 ~ 18
); ()	承記	若書	<u>-</u>	19
⊚,	鳥兽	伏仔	Ŗ護管理捕獲コーディネーター登録申請書の記入要領−−−−−	21 ~ 28
) /	知見	包藿	客査 (小論文) の書き方ポイント	29
⊚;	是占	出書	膏類チェックシ ー ト−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−−	31
-		-	『類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。 『31ページのチェックシートを利用してご確認下さい。	郵送する前

〔 1 〕 鳥獣保護管理に係る人材登録事業の概要

◎鳥獣保護管理に係る人材登録事業とは

近年、イノシシやニホンジカなど特定 の鳥獣や外来生物の個体数の増加や生息 域拡大等により、生態系や農林水産業等 への被害が深刻化し、集落への出没や人 家侵入などの生活環境被害や人身被害が 発生しています。

このため、全国的、広域的、地域的それぞれの視点から関係者間の合意形成を図りながら、第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画等(以下「特定計画等」という)、科学的な知見に基づいた計画的な管理を推進する必要があります。



そこで、環境省では鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程に基づき、専門 的な知識や経験を有する技術者を登録して、鳥獣保護管理に関する事業を実施 しようとする地方公共団体や農業団体等の要請に応じて、登録者についての情 報を紹介する取組みを実施しています。

◎登録の対象者と登録者の情報提供

鳥獣保護管理に係る人材登録は、地方公共団体が策定する特定計画等の策定 や策定の際の助言を行う「鳥獣保護管理プランナー」、鳥獣保護管理の現場に おいて適切な捕獲方法の指導や集落等への鳥獣の出没対策や被害防止対策等の 助言や指導を行う「鳥獣保護管理捕獲コーディネーター」、そして特定計画等 に必要な生息状況等の調査を行いその取りまとめを行う「鳥獣保護管理調査コ ーディネーター」の3つの専門分野に区分されています。

この事業では、3つの専門分野ごとに、募集要項に沿って申請した者で、一定の知見や実績がある技術者を登録しています。鳥獣保護管理プランナー又はコーディネーターとして登録されると氏名、専門分野、専門とする鳥獣、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報については、ホームページ等により公表します。また、登録者の連絡先等の情報は環境省自然環境局に備える登録簿に記載され、鳥獣保護管理に関する事業等を行おうとしている地方公共団体などの要請に応じて、情報を提供します。

◎鳥獣保護管理プランナー及びコーディネーターに期待される役割

各分野の登録者には、鳥獣保護管理を実施しようとする地域の地方公共団体 や農業団体等に対して、鳥獣保護管理に関する取組等について専門的な知識や 経験に基づく助言等を行うことが期待されます。

個人登録者の専門分野とその役割

鳥獣保護管理プランナー	鳥獣保護管理に関する計画の策定や策定の ための助言を行う。
鳥獣保護管理捕獲コーディネーター	鳥獣保護管理の現場において、効率的な捕 獲技術や被害防除の指導を行う。
鳥獣保護管理調査コーディネーター	鳥獣保護管理に関する計画を策定するため の調査や計画実施後のモニタリングを行 う。

※<u>この事業は、鳥獣保護管理に係る専門家に関する情報を提供するものであって、登録によって、公的な資格や権利が付与されるものではありません。また、登録された方について活動の場を保証する制度でもありません。</u>

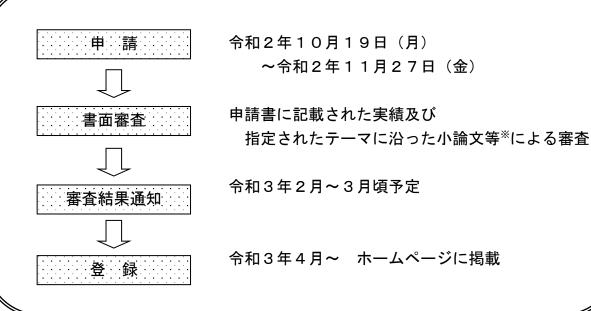
◎民間資格等との連携

本事業では、登録者の活用をさらに促進させる観点から既存の民間資格・認証制度との連携を進めています。相応の知見が担保されているものについては、知見(小論文)審査を免除する場合があります。

〔2〕 申請から登録までの流れ

鳥獣保護管理に係る人材登録への登録申請者は、申請期間中に、<u>必要事項を記載した所定の申請書及び各分野で指定されたテーマに沿った課題小論文の提出</u>*が必要です。

提出された書類および小論文は審査会によって書面審査を受け、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有する者として所定の要件を満たした者は、環境省自然環境局に備える登録簿に登録され、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業登録証」が交付されます。



※一般社団法人鳥獣管理技術協会及び一般社団法人エゾシカ協会が認定した以下の資格との連携を図り、知見(小論文)審査は免除となります。

連携する民間資格等	取得内容	知見審査免除の専門分野
	1級	鳥獣保護管理プランナー
鳥獣管理士		鳥獣保護管理捕獲コーディネーター
	年	鳥獣保護管理調査コーディネーター
これが従来で	DCC1	鳥獣保護管理捕獲コーディネーター
シカ捕獲認証 	DCCT	鳥獣保護管理調査コーディネーター

〔3〕 申請の際の注意

鳥獣保護管理プランナー、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター、鳥獣保護管理調査コーディネーター全てにおいて、以下の各号に該当する者は、登録申請はできません。

- 1 未成年者
- 2 成年被後見人又は被保佐人
- 3 鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第十三条の規定により登録を取り消され、その日から三年を経過していない者
- 4 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律又は同法に基づく命令の規定に違反して、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から三年を経過しない者

〔 4 〕 応募方法

◎ 手数料:申請にかかる手数料は無料です。

◎ 提出書類

- ①申請書(別紙1-2·別紙2を含む) (P11~P17参照)
- ②申請書別紙1-2および別紙2に記載した免許・資格・経歴を証明するもの (コピー可)
- ③課題小論文 (P18参照)
- ④連携する民間資格等の登録証明書もしくは認定証のコピー
- ⑤登録された場合に個人情報の一部を公開することの承諾書(P19参照) ※詳細は「〔9〕個人情報の取扱いについて」をご確認下さい。
- ⑥審査結果通知用封筒(長3(23.5cm×12.0cm)に申請者の連絡先、 氏名を記入し、切手を貼付して下さい。)

提出書類は、 ①~④×4部 (P31参照)

【原本1部+副本(原本をコピーしたもの)3部=計4部】

- ⑤承諾書 1部
- ⑥審査結果通知用封筒 1通(切手を貼付のこと)
- ※<u>申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。</u>又提出後の差し替えは認めませんので、この募集要項の最終ページにある提出書類 チェックシート(P31参照)を利用して必ず提出書類をご確認下さい。 特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。
- ※複数の専門分野を申請する申請者の場合は専門分野ごとに、上記書類をそ ろえて提出して下さい。
- ※原本は片面コピーで作成してください。(副本は両面コピー可)
- ※パソコン又はワープロで作成することが望ましいですが、手書きでも可です。手書きの場合はこの募集要項をコピーし、青又は黒ボールペンを使用して作成して下さい。
- ※ホッチキス・感熱紙は使用しないでください。
- ※提出書類は一切返却いたしません。

◎ 申請書の入手方法

下記ホームページからダウンロードして下さい。用紙の大きさは必ず A 4 サイズとして下さい

http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1.html

◎ 受付期間

令和2年10月19日(月)~11月27日(金)(締切日の消印まで有効)

◎ 送付先

受付は郵送のみで行います。簡易書留郵便により、下記宛お送り下さい。

〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7

一般財団法人 自然環境研究センター内

鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局

※ 郵送する封筒には、必ず「鳥獣保護管理人材登録事業登録申請書在中」と記入 して下さい。

〔5〕 登録要件

- ◎鳥獣保護管理捕獲コーディネーターの登録要件
- ①鳥獣保護管理の専門的な知見に係る要件
 - 次のア)及びイ)を満たすこと。
 - ア) 銃猟又はわな猟の狩猟免許を所持していること。
 - イ)提出された課題小論文その他の添付資料について、第一種特定鳥獣保護計画、第二種特定鳥獣管理計画、指定管理鳥獣捕獲等事業等における捕獲の指導に関する十分な知見が認められること。
- ②鳥獣保護管理の実績に係る要件

鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除の指導の経験年数が、**令和2 年3月31日の時点で5年以上**あると認められること。

- ※複数の業務で重複している期間は合計せず、1年としてカウントする。
- ※対象鳥獣は、イノシシ、ニホンジカ、クマ類、カモシカ、ニホンザル、カワウ 及び外来鳥獣等。

〔 6 〕審査方法

審査会によって書類審査を実施します。提出された申請書およびテーマに沿った小論文から所定の要件を満たし、鳥獣保護管理に係る実績と知見を有していると認められた者を鳥獣保護管理の専門家等として環境省自然環境局に備える登録簿に記載します

なお、②の実績に係る要件に関しては、申請書別紙1-2の記載項目に応じ、

下記表の①~③のうち2つ以上の確認事項に当てはまり、その実績が合計5年以上ある場合が該当します。

実務経験年数は、通算年数で計上しますが、同一期間内に複数の業務を実施していた場合、重複している期間は個別に計上せず、一つの期間としてカウントします。詳しくは、ホームページの「鳥獣保護管理に係る人材登録事業に関するQ&A」をご覧下さい。

	申請書別紙1-2	申請書審査項目	確認事項
1	(1)	有害鳥獣捕獲隊の隊長として指導に携 わった実績	内容が十分であること
2	(2)	業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣 の捕獲の指導に関わった実績	内容が十分であること
	(3) — (7)	鳥獣被害防除対策の指導を実施した実 績	3つの項目のう
3	(3) - (イ)	地方公共団体等が主催する鳥獣保護管 理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に 関する講習会の講師の実績	ちどれか1つ以 上の記載があ り、内容が十分
	(3) — (ウ)	鳥獣保護管理員の勤務実績	であること

〔7〕課題小論文

< 論 文 テーマ > 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター専用

- ①鳥獣保護管理を実施していく中で、個体数調整のための捕獲や有害鳥獣捕獲 が担う役割について
- ②〈これまでの経験と①で記述した内容を踏まえて〉今後捕獲者が減少することを考え、個体数調整のための捕獲や有害鳥獣捕獲を効果的・効率的に行うための方針及び必要な体制について
- ☞ 論文の事例は、様式1-1で選択した対象鳥獣について記述して下さい。
- 論文は、①と②のテーマはそれぞれ500字以上、①と②を併せ全体では1, 500字以上2,000字以内にまとめて下さい。句読点は字数にカウントします。図やグラフは字数に含めず、別添扱いとし、論文の最後に添付して下さい。論文タイトルは形式自由、字数としてはカウントしません。
- ☞ 冒頭に総字数、専門分野、論文タイトルを記入して下さい。
- ☞ パソコン又はワープロを使用する場合は、できるだけ1ページにつき「1行

30字、40行(1ページ1,200字)」とし、A4サイズ縦判用紙に横書きで作成して下さい。

- ☞ 手書きの場合は募集要項をコピーして作成して下さい。
- ☞ 複数の専門分野を申請される場合は、該当する専門分野それぞれについて課 題小論文を提出して下さい。
- ☞小論文の書き方ポイントについてはP29参照。

〔8〕注意事項

- □ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業は、法律に基づく国家資格制度ではありません。
- 愛 登録者について活動の場を保証する事業ではありません。
- ☞ 依頼を受け、登録者として鳥獣保護管理活動を行う場合、謝金等の必要経費 は依頼者負担です。必要経費等の諸条件は、依頼者と直接調整して下さい。
- ☞ 登録後に申請書及び証明書等の提出書類に虚偽の記載が認められた場合には、登録を取り消すことがあります。
- ☞ 受理した申請書等の書類は、理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- ☞ 申請後、氏名、住所、勤務先、電話番号に変更が生じた場合は、申請書を変更の内容がわかるように修正の上、「(4)応募方法◇送付先」に簡易書留郵便によりお送り下さい。(普通郵便やFAXは不可)
- ☞ 申請書等に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。また提出後の差し替え等は一切認めませんので、この募集要項の最終ページにある提出書類チェックシートを利用して必ず提出書類をご確認下さい。

〔9〕個人情報の取扱いについて

環境省(以下「当省」という。)は、申請者から提供される個人情報について、 下記のとおり取り扱います。

1. 個人情報の利用目的等

申請書類に記載された情報は、審査等に関わる連絡及び登録者に助言等を依頼しようとする者(以下「利用者」という。)に所定の情報を提供するために利用します。

環境省自然環境局に備える登録簿には、登録者に係る氏名、生年月日、連絡 先(住所、電話番号、電子メールアドレス等)、専門分野、専門とする鳥獣、 主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報が記載されます。

登録簿に記載された登録者の情報のうち、連絡先、生年月日以外の情報については、ホームページ等により公表する場合があります(実際にどのような情報が公表されているかは、以下のホームページでご確認下さい)。

※「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」鳥獣プロデータバンク登録者一覧 http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort1/effort1-1/index.html

また、登録者の連絡先に係る情報については、利用者が利用申請書を鳥獣保 護管理に係る人材登録事業運営事務局へ提出した場合に、当該利用者に限り情 報の提供をします。

2. 利用及び提供の制限

当省は、個人情報を利用目的以外に利用しません。また、法令に基づく場合その他特別の理由のあるときを除き、第三者に提供しません。

3. 安全確保の措置

当省では、収集した情報の漏えい、滅失又はき損の防止その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。審査の結果、鳥獣保護管理に係る人材登録事業に登録された場合の個人情報は適切に管理します。不合格となった方の個人情報は、不合格である旨を通知後に廃棄・削除します。また、申請書類一式は返却しませんので予めご了承下さい。

4. 業務委託

当省では、収集した情報について、その利用目的の達成のため、取扱いを委託する場合があります。その際は、個人情報を適正に取り扱っていると認められるものを選定し、契約等により個人情報保護に必要な事項を義務づけ、適切な監督を行います。

5. 個人情報の開示、訂正及び利用停止

収集した個人情報について、申請者本人より開示、訂正及び利用停止の請求 があった場合、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(平成15年 法律第58号)の規定に基づき対応します。

〔10〕登録期間及び更新

登録の有効期間は3年間です。必要に応じて活動実績等の報告書の提出を求めることがあります。登録の有効期間内に更新申請書を提出することで登録を 更新できます。

〔11〕問い合わせ先

- ◎ 鳥獣保護管理に係る人材登録事業運営事務局 〒130-8606 東京都墨田区江東橋3-3-7
 - 一般財団法人 自然環境研究センター内

TEL:代表 03 (6659) 6339

E-Mail: chojujinzai@jwrc.or.jp

 環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL:代表 03(3581)3351 [内線6476]

※ 合否結果や審査結果に関する問合せには、一切応じられませんのでご了承下 さい。

鳥獣保護管理捕獲コーティネーター 登録申請様式集

様式第 1-1 号(第4条第1項関係)

*		

写真

<u>鳥獣保護管理に係る人材登録事業申請書(個人用)</u> <u>鳥獣保護管理捕獲コーディネーター</u>

1.縦 36~40mm 2.横 24~30mm 3.本人単身胸から上

(ふりがな)		
※氏 名		
生年月日	昭和•平成 年 月 日生(歳)	
現 住 所	〒 電話番号 () 携帯電話 () e-mail:	
所 属 先	所属先名 役職名 〒 電話番号: () e-mail:	
※連 絡 先	連絡先名 役職名 〒 電話番号: () e-mail:	
※対象鳥獣	□ イノシシ□ ニホンジカ□ カモシカ□ ニホンザル□ カワウ□ 外来種(□ その他(□ ヒグマ))
※活動地域	□ 北海道 □ 東北 □ 関東 □ 北陸 □ 近畿 □ 中国 □ 四国 □ 九州 □	□ 中部 □ 沖縄

※鳥獣保護管理活動の経歴(150字程度)
※特記事項、実績等に関する事項
(1)実績に関する事項 申請書添付資料 別紙1-2(鳥獣の捕獲の指導に関わる実績)に記載。
(2)特記事項 申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項)に記載。
上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請します。
年 月 日
氏 名 印 環境省自然環境局長 殿
記入上の注音 「連絡生」 笙 ※がついている頂目は登録された場合にホームページ笙で外妻され

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表される ため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、実務経験のある種類について記載すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

((別紙1-	-2)	急獣	の捕獲	の指導	に関:	わろ	実績
	ノノコハンレエ	4,	7007 D/V	~ / IM / ~	∨		1-0	ノマール見

*			

(1)有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として捕獲の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、有害鳥獣捕獲等の捕獲隊(鳥獣被害防止特別措置法(農林水産省)による鳥獣被害対策実施隊を含む)の隊長として捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記載する。

◎ 指	i獲隊の隊長として捕獲の指導に関	わった期間の合計		年 *
1	地 方 公 共 団 体 名			
	対 象 鳥 獣			
	捕獲隊の隊長として指導した年度	年度~	年度	
	捕獲隊の名称			
	指導内容及び成果			
2	地方公共団体名			
	対 象 鳥 獣			
	捕獲隊の隊長として指導した年度	年度~	年度	
	捕獲隊の名称			
	指 導 内 容 及 び成 果			
3	地方公共団体名			
	対 象 鳥 獣			
	捕獲隊の隊長として指導した年度	年度~	年度 年度	
	捕獲隊の名称			
	指 導 内 容 及 び成 果			
備	考 対象鳥獣はイノシシ	、ニホンジカ、クマ類、オ	フモシカ、ニホンザル、フ	カワウ及び外来獣等

(2)業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績について、指導の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。

	実績の詳細										*	
事	Ì	業	名									
履	行	期	間	年	月	\sim		年	J	∮ (か年度)	
発	注	機	関									
受	託	者	名									
対	象	鳥	獣									
実施	時の	所属·	役職									
事	Ì	業	名									
履	行	期	間	年	月	~		年	J	∮ (か年度)	
発	注	機	関									
受	託	者	名									
対	象	鳥	獣									
実施	時の	所属·	役職									
事		業	名									
履	行	期	間	年	月	\sim		年] (<u> </u>	か年度)	
発	注	機	関									
受	託	者	名									
対	象	鳥	獣									
美 胞	時(/)	別馬•	役職									
<i>p</i> ++-			-17	\\\\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	· 0	1>	vá hp.)	- hy				
備			考	当該様式は、適宜	旦コピー	して	追加して	よい。				

(3) - (ア) 鳥獣被害防除対策等の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣被害防除等の指導を実施した実績について、事業の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。

実施主体名 実施均の所属・役職 実施主体名 実施すの所属・役職 実施 地域 対象鳥獣 実施の所属・役職 実施の所属・役職 実施 地域 実施 地域 実施の所属・役職 実施の所属・役職 (株) 日本日 () 小年度) 実施のの所属・役職 (株) 日本日 () 小年度) 実施時の所属・役職 (株) 日本日 () 小年度) 実施時の所属・役職		実績の詳細									
実施生体名 実施生体名 実施 期間 年月~年月(実 施 主 体 名										
対象 島 獣 実施中の所属・役職	実 施 期 間	年 月 ~ 年 月 (<u>か年度</u>)									
実施主体名 実施期間 年月~年月(実 施 地 域										
実施主体名 実施 期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施 地域 実施時の所属・役職 実施 主体名 実施 期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施 地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	対 象 鳥 獣										
実施期間 年月~年月(実施時の所属・役職										
実施期間 年月~年月(
実施期間 年月~年月(
実施期間 年月~年月(
実施期間 年月~年月(
実施期間 年月~年月(
実施期間 年月~年月(
実施 地 域 実施 主 体 名 実施 期間 年 月 ~ 年 月 (か年度) 実施 地 域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	実 施 主 体 名										
文集 息 账 実施主体名 実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥账 実施時の所属・役職	実 施 期 間	年 月 ~ 年 月 (<u>か年度</u>)									
実施主体名 実施期間 年月~年月(実 施 地 域										
実施主体名 実施期間年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	対 象 鳥 獣										
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	実施時の所属・役職										
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施期間 年月~年月(<u>か年度</u>) 実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職											
実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	実 施 主 体 名										
実施地域 対象鳥獣 実施時の所属・役職	実 施 期 間	年 月 ~ 年 月 (<u>か年度</u>)									
実施時の所属・役職	実 施 地 域										
	対 象 鳥 獣										
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	実施時の所属・役職										
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
備 考 当該様式は、適宜コピーして追加してよい。											
	備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	ı								

(3) - (イ) 地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師の実績

1	実	施	年	月	年 月	*
	講習	3会=	主催者	皆名		
	対	象	鳥	獣		
	講	習	会	名		
2	実	施	年	月	年 月	
	講習	3会=	主催者	皆名		
	対	象	鳥	獣		
	講	習	会	名		
3	実	施	年	月	年 月	
	講習	3会=	主催者	皆名		
	対	象	鳥	獣		
	講	習	会	名		
4	実	施	年	月	年 月	
	講習	3会	主催者	旨名		
	対	象	鳥	獣		
	講	習	会	名		
備			考		講習会講師の実績を証明するもの(委嘱状等)のコピーを添付すること。	

(3)-(ウ)鳥獣保護管理員の勤務実績

都道府県名		*							
鳥獣保護管理員とし て勤務した年度	年度 ~ 年度								
備考	ま 考 鳥獣保護管理員の勤務実績を証明するもの(任命書等)のコピーを添付すること。								

(参考)鳥獣の捕獲実績(過去5年以内の主な鳥獣の捕獲実績を記入する)

①あなたが指導した鳥獣保	護管理に関する捕獲(有害鳥獣捕獲、個体数調整など)の実績
都道府県名 市町村名	年度 (出猟した日数日) 捕獲種:
②あなた自身の狩猟による	鳥獣の捕獲実績
都道府県名	年度 (出猟した日数日) 捕獲種: 捕獲した数: 頭(羽)
市町村名	捕獲種: <u>埔獲した数:</u> 頭(羽) 捕獲種: <u>埔獲した数:</u> 頭(羽)
1m Z	イノシシ、ニホンジカ、クマ、カワウ、外来獣の実績を記入する。 ついては、 <u>申請者個人の捕獲実績</u> を記入する。

(別紙2)免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項

(当てはまるものに☑を付ける)

		特記事項(免許・資格、研修受講歴)
狩猟免許に	ついて	(所持する免許に☑を付ける)
□ 第1種	銃猟免	許(年 月取得)□ 第2種銃猟免許(年 月取得)
□ わな猟	免許	(年 月取得)□ 網猟免許 (年 月取得)
猟銃等の所	持許可	について(猟銃・空気銃を所持する場合、所持許可証について記入する)
原交付年月	日 (昭和•平成 年 月 日)
銃の用途(当	イ てはま	る用途に☑を付ける) □標的射撃 □狩猟 □有害鳥獣駆除
認定鳥獣捕	獲等事	業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーについて
□ 認定鳥	獣捕獲	等事業者(□ 事業管理責任者、□ 捕獲従事者)
□農作物	野生鳥	獣被害対策アドバイザー(農林水産省)
鳥獣保護管	理法の	違反歴について
□ 過去に	、鳥獣	保護管理法に違反したことはない。
取得年	月	その他の免許及び資格
	1	
入会年	月	所属学会
受講年	月	受講した研修・講習の名称
	1	
備	考	・資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウンセラー、環境再生医などを記載する。 ・記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付すること。

課題/	ト論文	用原稿用紙	(手書用)
) '咄 人	ノロルバコロノロルへ	

総	募集要項にある専門分野ごとのテーマに沿って、1,500 字以上 2,000 字以内で記述して下さい。 総字数 字 専門分野 論文タイトル														

 (20×20)

承諾書

令和 年 月 日

環境省自然環境局長 殿

住所

氏名 印

私は、「鳥獣保護管理に係る人材登録事業」に登録された場合は、様式第1-1号に記載された項目(氏名、連絡先の名称、役職、専門とする鳥獣(対象鳥獣)、主な活動地域、鳥獣保護管理活動の経歴等の情報)について、環境省のホームページ等において公表することを承諾します。

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター 登録申請書の記入要領

様	式第 1-1 号(第4%	条第1項関係)	事務局記入欄。	*					
			記入しないで下さい。						
		鳥獣保護管理に係る	人材登録事業申請書(個人月	<u>写真</u>					
		鳥獣保護管理	捕獲コーディネーター	1.縦 36~40					
	<u></u> 必ずふりがなを	付し	3ヶ月以内に撮影した写	1					
	て下さい。		ってください。写真裏に						
			名を記入して下さい。						
Г	(>10.18.35)	4 2 10 2 4 4 5							
	(ふりがな)	`ちょうじゅう たろう							
ŀ	※氏 名	鳥獣 太郎							
	生年月日	昭和• 平成 40年 12月	2日生(54						
ŀ		歳)							
		T000-0000							
	現住所								
	先 住 別	電話番号 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 携帯電話 〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇							
		e-mail: 000@00000							
ŀ		所属先名 株式会社〇〇〇セ							
		役職名 鳥獣対策チーム長		✓ 「所属先」には					
	武 艮 化	7000-0000		── 名、所属部署、〕					
	所 属 先	○○県○○区○○○丁目(○号○番	所、電話番号、を	必ず記入				
		電話番号: 〇〇〇 (〇〇〇)) 0000	して下さい。					
ļ		e-mail: OOO@OC	00000						
		連絡先名 株式会社〇〇〇セ	ンター 鳥獣対策チーム	節道府県等利用者か	ら利用申込が、				
		役職名 鳥獣対策チーム長	<	あった場合、その利用	者に「連絡先」				
	※連 絡 先	7000-0000		の情報を提供します。ク	公表しても差し				
		○○県○○区○○○丁目	○号○番	支えのない情報を記載	して下さい。				
		電話番号: 〇〇〇 (〇〇))) 0000	※ホームページで公表	きされるのは、				
		e-mail: OOOO@OC	j00000 \ j	重絡先∙役職名のみで	す。				
		☑ イノシシ ☑ ニホンジカ	□ ツキノワグマ □ ヒク	/					
	※対象鳥獣	□ カモシカ	□ カワウ	☑をした鳥獣に					
	人们多人而可	□ 外来種(ハクビシン、アライ:	グマ	<u> 紙1-2に、実</u>					
		□ その他(<u>述して下さい。</u>					
	※活動地域	□ 北海道 □ 東北 ☑ 月	関東 □ 北陸 □ 中部	<u> のは登録できま</u>	<u>きせん。</u>				
	/•\ 口 z/J+巴/次	□ 中国 □ 四国 □ 九小	∥ □ 沖縄		$\overline{}$				

※鳥獣保護管理活動の経歴(150字程度)

これまで行ってきた鳥獣保護管理に関する主な経歴等を150字程 度に要約して記入して下さい。ここに記載された事項は、登録され た場合に公表の対象となりますので、公表しても差し支えのない事 項について記載して下さい。

※特記事項、実績等に関する事項

(1)実績に関する事項については、鳥獣保護管理捕獲コーディネーター申請書添付資料(別紙1-2)に記載の上、必ず申請書に添付して下さい。

(1)実績に関する事項

申請書添付資料 別紙1-2(鳥獣の捕獲等の指導に関わる実績)に記載。

(2)特記事項

申請書添付資料 別紙2(免許・資格、参加学会及び研修等の受講歴に係る事項)に記載。

上記により、鳥獣保護管理に係る人材登録事業の鳥獣保護管理捕獲コーディネーターとして登録を受けたいので、鳥獣保護管理に係る人材登録事業実施規程第4条第1項の規定に基づき申請します。

必ず自署又は記名押印して下さい。

令和●年●●月●●日

氏 名 鳥獣 太郎

印

環境省自然環境局長 殿

記入上の注意 「連絡先」等、※がついている項目は登録された場合にホームページ等で公表されるため、公表可能なものを記載すること。

「対象鳥獣」欄には、実務経験のある種類について記載すること。

「活動地域」欄には、活動が可能な地域を記載すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。

(別紙1-2) 鳥獣の捕獲の指導に関わる実績

*

(1) 有害鳥獣捕獲等の捕獲隊の隊長として捕獲の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、有害鳥獣捕獲等の捕獲隊(鳥獣被害防止特別措置法(農林水産省)による鳥獣被害対 策実施隊を含む)の隊長として捕獲の指導を実施した実績について、指導内容及び成果を具体的に記述する。

◎捕	消獲隊の隊長として捕獲の指導に関わ	っった期間の合計	8	年	*							
1	地 方 公 共 団 体 名	●●県△△市										
	対 象 鳥 獣	イノシシ										
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成 18 年度~	21 年度									
	捕獲隊の名称	△△市イノシシ捕獲隊										
	指導内容及び成果	<u>績年数の</u> うに記載	(3)のいずれか2つ。 合計が5年分の実績。 して下さい。 ページの登録要件・審	となるよ								
2	地方公共団体名	●●県△△市										
	対 象 鳥 獣	ニホンジカ										
	捕獲隊の隊長として指導した年度	平成 15 年度~	22 年度									
	捕獲隊の名称	△△市ニホンジカ捕獲隊	÷									
	指導内容の詳細を記述してください。											
3	til I	īの有害鳥獣捕獲隊の責任 :事者(猟友会等)を指導し										
		等)や、捕獲目標数を達成			· -							
	捕獲隊、な結果が得られたのか、	具体的に記述して下さい。										
	捕獲网の名か	□□町ナノイク マ捕渡事	素									
<i>I</i> -+	指導内容及び成果			T 2041 + 2/4	foto							
備	考 対象鳥獣はイノシシ	ニホンジカ、クマ類、カモシ	ノカ、ニホンサル、カワウ	及び外米獣	等							

(2)業務として鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲の指導を実施した実績について、指導の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述する。

7,7,1	-		-> (11)	実績の詳細	*
事		É	名	○○個体数調整事業	
履	行	期	間	平成 15 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月 (<u>1か年度</u>)	
発	注	機	関	〇〇県	
受	託	者	名	株式会社〇〇センター	
対	象	鳥	獣	イノシシ (1)~(3)のいずれか2つ以上の	
実施	時の原	沂属・	役職	株式会社〇〇センター 研究員 <u>續年数の合計が5年分の実績</u> となる	るよ
				うに記載して下さい。	
				※5~6ページの登録要件・審査方法	去を
				参照。	
事		É	名		
履	行	期	間	年 月~ 年 月(<u>か年度</u>)	
発	注	機	関		
受	託	者	名		
対	象	鳥	獣		
実施	時の原	沂属•	役職		
			_		
			北海	カウの砂伽ナミマルギャン	
				<u>内容の詳細を記述してください。</u>	
				ず、「ニホンジカの個体数調整事業を受託し、その現場の責任者として指導をした」	
				場合は、現場の監督者として捕獲事業の従事者(猟友会や民間事業者等)を指導し	
		7	た内容	『(安全管理の指導、違反に対する指導、捕獲手法の指導等)や、捕獲目標数を達	
事			成する	ために、どのように対処しどのような結果が得られたのか、具体的に担当業務につ)
履			いて記	述して下さい。)
発	注	機	渕		1
受	託	者	名		
対	象	鳥	獣		
実施	時の月	近属・	役職	様式1−1(11ページ)の対象鳥獣に☑した鳥獣に	
				ついて、実績の詳細を記述して下さい。	
/#			±×.	ル ⇒ サント `☆ ウーレ゜) マ '白 hnì マ ト 、	
備			考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	

(3) - (ア) 鳥獣被害防除対策等の指導を実施した実績

令和2年3月31日までに、行政又は研究機関、民間団体等の職員等として、鳥獣被害防除等の指導を実施した実績について、事業の内容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。

績について、事業の内	マ容及び成果、事業における自らの役割を具体的に記述すること。	
	実績の詳細	*
実 施 主 体 名	○○県△△市	
実 施 期 間	平成 15年 4月 ~ 平成 19年 11月 (5か年度)	
実 施 地 域	○○県△△市	
対 象 鳥 獣	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル	
実施時の所属・役職	株式会社〇〇センター 研究員~鳥獣対策チーム長	
	(1)~(3)のいずれか2つ以上	<u>:の実</u>
	積年数の合計が5年分の実績とな	:るよ
	うに記載して下さい。	
	※5~6ページの登録要件・審査方	ī法を
	参照。	
実 施 従事者	指導の内容及び成果、事業における自らの役割の詳細を記述してくだ	
<u>実</u> 施 さい。		
	、「△△県○○市鳥獣被害対策協議会の事業を受託し、当該市におけ	
	島獣の被害対策指導を実施した。農村集落における被害発生状況の把	
実施時 <i>0</i> 握およ て	「集落診断に基づく有害鳥獣の侵入経路について調査を実施するとと	
もに、効	果的な防除柵の設置方法や廃棄作物の適切な処理方法などについ	
て、地域	住民に対する講習会を開催し講師として従事した。講習会を定期的に	
開催した	ことにより、地域住民の被害防除に対する意識が向上し、被害対策へ	
とりくむん	本制づくりに貢献することができた。」と具体的に指導内容と成果につい	
√ て記述し	て下さい。	
実施主体名		
実施期間	年 月 ~ 年 月 (<u>か年</u> 度)	
実 施 地 域		
対象鳥獣	サーム 4 (4 4 0 0 1) の 1 (4 台 W) L - 口 1 L 白 W) L	
実施時の所属・役職	様式1-1(11ページ)の対象鳥獣に囚した鳥獣に	
	ついて、実績の詳細を記述して下さい。	
	T	
備考	当該様式は、適宜コピーして追加してよい。	

(3) - (イ) 地方公共団体等が主催する鳥獣保護管理に関する鳥獣の捕獲及び被害防除に関する講習会講師の実績

1	実	施	年	月	平成	18	年	6	月	*
	講習	会主	:催君	名		△△市				
	対	象	鳥	獣	ニホンサ	ドル				
	講	習	会	名	△△市	ニホンザ	ル農作物	被害対策		
2	実	施	年	月	平成	22	年	7	月	
	講習	会主	三催者	名		△△町				
	対	象	鳥	獣	ニホンシ	ジカ				
	講	習	会	名	△△町	ニホンジ	カ捕獲技	術講習会	<u> </u>	
3	実	施	年	月			年		月	
	講習	会主	三催者	名						
	対	象	鳥	獣						
	講	習	会	名						
4	実	施	年	月			年	悪師のき	 委嘱状または講習会の内容がわかる資	
	講習	会主	三催者	名					妄嘱状よたは瞬音云の内谷がわかる』 等のコピーを必ず添付してください。	_
	対	象	鳥	獣				// 未/)= 	中のコニーを必ずが付していた。	1
	講	習	会	名						
備			考		講習会記	講師の実	績を証明	月するもの)(委嘱状等)のコピーを添付すること。	

(3) - (ウ) 鳥獣保護管理員の勤務実績(該当する場合は記入する)

都 道 府	県 名	△△県						*
鳥獣保護 ^を て勤務した	管理員とし :年度	平成	18	年度 ~	20	年度		
備	考	鳥獣保護	管理員の勤	勧務実績を証明	するもの	(任命書等)のコ	ピーを添付するこ	と。

(参考)鳥獣の捕獲実績(過去5年以内の主な鳥獣の捕獲実績を記入する)

① あなたが指導した鳥獣保護管理に関する捕獲(有害鳥獣捕獲、個体数調整など)の実績					
都道府県名 〇〇県	平成 26 年度 (出猟した日数 <u>10</u> 日) 捕獲種: ニホンジカ <u>捕獲した</u> 数:				
市町村名■■市		<u>頭</u> (羽) <u>頭</u> (羽)			
② あなた自身の狩猟による鳥獣の捕獲実績 申請者個人の狩猟に					
都道府県名 △△県	平成 26 年度 (出猟した日数 15 日) 捕獲種: イノシシ 捕獲した数:				
	1用0受1里・17000 1用0受した数・	うして下さい。			
市町村名 **町	捕獲種: アライグマ 捕獲した数:	3 <u>頭</u> (羽) <u>頭</u> (羽)			

所持する種類に☑を付けて下さい。平成 (別紙2)免許 項 第1種銃猟免許取得者は☑しな 18年度以前の網わな免許取得者は、必 (当) いで下さい。第2種銃猟免許の ず両方に☑を付けて下さい。 符記事項(免許・資格、研修デ みを所持する場合に☑して下さ **狩猟免許**について(所持する免許に**▽**を付ける) ☑ 第1種銃猟免許(平成10年12月取得) □ 第2種銃猟免許(月取得) □ わな猟免許 (年 月取得)□ 網猟免許 取得年月を必ず記 猟銃等の所持許可について (猟銃・空気銃を所持する場合、所持許可証につ) 入して下さい。 原交付年月日 (昭和• (平成) 10年 12月 12日) 銃の用途(当てはまる用途に図を付ける) □標的射撃 ☑狩猟 □有害鳥獣駆除 認定鳥獣捕獲等事業者、農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーについ 標的射撃、狩猟、有害鳥獣駆除のうち ☑ 認定鳥獣捕獲等事業者(☑ 事業管理責任者、□ 捕獲従事 銃砲所持許可証に記載された用途に ☑ 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー(農林水産省) ☑を付けて下さい。 鳥獣保護管理法の違反歴について ☑ 過去に、鳥獣保護管理法に違反したことはない。 取得年 その他の免許及び資格 第4級アマチュア無線技士免許 平成6 1 平成15 生物分類技能検定1級 動物部門 哺乳・爬虫・両生類分野 平成19 2 ビオトープ計画管理士1級 入会年 月 所属学会 平成12 ○○学会所属 6 受講した研修・講習の名称 受講年 月 平成15 ○○県野生鳥獣害対策指導者育成研修会 ・資格は生物分類技能検定やビオトープ管理士、環境カウンセラー、環境再生 考 備 医などを記載する。 ・記入した免許及び資格を証明できるもののコピーを添付すること。

課題小論文用原	互稿田紙 ((手書用)
	下作时 / 口 / 以 、 '	、丁音用厂

|--|

景集要項にある専門分野ことのアーマに沿って、1,500 字以上 2,000 字以内で記述して下さい。 総字数 字 専門分野 <u>鳥獣保護管理捕獲コーディネーター</u> 論文タイトル
総字数、専門分野、論文のタイト・トート・トート・トート・トート・
氏名は記入しないでください。
①と②併せて、1, 500字以上2, 000字以内にまとめてください
いとし、論文の最後に添付して下さい。
・読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか。
・文字数の極端な過不足はないか。
·野生鳥獣の保護·管理の現状についての基本的な理解ができて
いるか。 自然/Jawa Taya - またもの 自然/Jawa Taya - またもの
・鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計
画についての基本的な理解と、従事する鳥獣保護管理に関する
計画等について理解できているか。
・順応的管理のあり方について述べられているか。
──────・今後の捕獲者の減少を踏まえ、捕獲を効果的、効率的に行うた ────────
めの体制(仕組み)づくりにどう取り組んでいるかを、実例に基づ
いて述べられているか。
・鳥獣保護管理において個体数調整、有害鳥獣捕獲等がどのよう
な目的で実施されているかについて正しく述べられているか。
・捕獲業務(あるいは事業)の目的、重視した点が述べられている
か。
 ・捕獲業務(あるいは事業)に従事する上での課題がわかりやすく
整理されているか。

 (20×20)

知見審査(小論文)の書き方ポイント

知見審査では各専門分野で指定されたテーマに沿った課題小論文を提出していただきます。

各テーマをよく確認し、鳥獣保護管理を実施する上で必要とされる事項について、具体的な課題や対応 等について記述してください。ここでは、各専門分野の知見審査の書き方のポイントをまとめます。小論 文を作成する際の参考にしてください。

鳥獣保護管理捕獲コーディネーター

- ✓ 読み手に伝わるわかりやすい表現となっているか
- ✓ 文字数の極端な過不足はないか
- ✓ 明らかな違法行為と読み取れる内容が含まれていないか
- ✓ 野生鳥獣の保護・管理の現状について基本的な理解ができているか
- ✓ 鳥獣保護管理法、基本方針、鳥獣保護管理事業計画、特定計画についての基本的な理解と、従事する 鳥獣保護管理に関する計画等について正しく理解できているか
- ✔ 順応的管理のあり方について述べられているか
- ✓ 今後の捕獲者の減少を踏まえて、捕獲を効果的、効率的に行うための体制(仕組み)づくりにあなたがどのように取り組んでいるかを実際の経験に基づいて述べられているか
- ✓ 鳥獣保護管理において個体数調整、有害鳥獣捕獲等がどのような役割をもち、またどのような目的で 実施されているかについて述べられているか
- ✓ あなたが携わった捕獲業務(あるいは事業)を実施する上での重視した点や課題の対処について具体 的に述べられているか
- ✓ 鳥獣保護管理に関する捕獲の現場において効率的な捕獲技術や被害防除の指導について、捕獲技術の向上だけでなく効果的な体制(アイデア、実際に構築したもの)について具体的に述べられているか。

提出書類チェックシート

提出書類チェックシート

- ◎申請書類に不備や不足がある場合は無効となる場合があります。
- ◎提出後の差し替えは一切認めません。

提出書類に不備や不足がないよう、郵送する前に必ず下記の表を利用して御確認下さい。 特にコピー部数の不足が多く見られますので注意して下さい。

番	書類の種類	必要部数	チェック欄
号	音規が性規	必安叩奴	Ø
1	申請書	原本 1 部	
	半胡音	副本3部	
2	申請書添付資料(別紙1-2)	原本 1 部	
	<専門分野ごとに異なる>	副本3部	
3	申請書添付資料(別紙2)	原本 1 部	
<u> </u>	<免許・資格、研修の受講等>	副本3部	
4	・免許・資格、研修の受講等を証明又は補完するもの ・委嘱を受けた各講習会の委嘱状等	原本の写し1部	
4	コピー (※申請書別紙2に記載した順番で 添付してください。)	副本3部	
⑤	課題小論文または連携する民間資	原本 1 部	
9	格・認証制度の認定証のコピー	副本3部	
6	承諾書	1 部	
7	審査結果通知用封筒 (長3(23.5cm×12.0cm)に 申請者の連絡先、氏名を記入し、切手 を貼付してください。)	1 部	

[※]番号①~⑤の原本を1セット、副本を3セットにまとめてご提出下さい。

[※]①~⑦までのすべての書類をもれなく送付してください。